8月は人権強調月間

知っておきたいLGBTの話

8月は人権強調月間です。人権について考えるきっかけとして、NPO法人虹色ダイバーシティ代表の村木真紀さんから「知っておきたいLGBTの話」をテーマに寄稿していただきました。

この機会に、皆さんも人権について考えてみましょう。

村木 真紀(むらき まき)さん　寄稿

京都大学総合人間学部卒業。日系大手製造業、外資系コンサルティング会社等を経て現職。LGBT当事者としての実感とコンサルタントとしての経験を活かして、LGBTに関する調査研究や社会教育活動を行っている。

ここ数年「LGBT」という言葉がテレビや新聞で取り上げられることが増えました。今年3月には札幌地方裁判所が「(同性婚を認めていない)現状の民法と戸籍法は違憲だ」と判断したことが大きな話題になりました。

そこで今回は、LGBTに関して知っておいていただきたいことについて、お伝えできればと思います。

レズビアン Lesbian	女性として、女性を好きになる人
ゲイ Gay	男性として、男性を好きになる人
バイセクシュアル Bisexual	異性を好きになることもあれば、同性を好きになることもあるという人
トランスジェンダー Transgender	生まれた時に出生届に書かれた性別と異なるアイデンティティを持つ人

■LGBTとは?

LGBTとは、英語のレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取ってつなげたもので、性的マイノリティ(少数者)の総称として使われている言葉です。LGBT以外にもさまざまなアイデンティティの人がいます。

■LGBTの人口

LGBTはどれ位いるのでしょうか?例えば、大阪市で2019年に行われた「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」では、人口の約3~8%でした。仮に5%とすれば、20人に1人はいるという割合です。障害者手帳を持っている人と同じくらいです。しかし、みなさんのご近所や職場など、身の周りにLGBTがいるとは想像できないかもしれません。日本では、周囲の人に自分がそうであると伝えている(カミングアウトしている)人が、本当に少ないのです。統計的には誰もが身近にいるはずなのに、カミングアウトの壁があるために、なかなか自分ごととは思えないのが、LGBTの課題の特徴です。

■LGBTの生きにくさの要因

では、LGBTはどんなことに困っているのでしょうか?LGBTはうつや自死の割合が高いと聞いたことがある人もいるかもしれません。一般のデータと比較すると2倍~数倍という調査結果が出ています。

日本の多くの学校や職場、家庭や地域では、男性は男性らしく、女性は女性らしく振る舞うことが期待されます。そこからはみ出すと、からかわれたり、無視されたりします。そうした社会の雰囲気がLGBTを追い詰めています。私たちの調査では、学校でいじめられ中退したという事例、非正規の仕事を転々として貧困状態に陥っているという事例があります。上司にカミングアウトしたら、周囲の人にも暴露され、それがきっかけでうつになって労災申請した、という事例もあります。

■同盟者「アライ」の役割

LGBTの生きやすい社会をつくるには、LGBTが一定数はいることを前提として、学校や職場や地域を見直していくことが必要です。ここで大事な役割を果たすのが「アライ」と呼ばれる役割です。アライは英語で「同盟者」という意味で、LGBTの社会的課題に共感し、共に社会を変えていこうとする人のことを言います。

LGBTは人口としてはやはり少数派ですので、社会の雰囲気を変えるにはアライの存在が鍵になります。私たちの調査では「アライがいる」と回答している職場では、約67%のLGBTが「心理的安全性が高い」、約48%が「孤立感が低い」と回答しています。教職員や同僚など、アライが自分の周囲にいると感じられるだけでも、当事者の安心につながるのです。

■アライの輪を広げよう

それでは、アライとして、どんなことができるでしょうか? まずは、LGBTについての理解を深めましょう。ニュースを見かけたら、それを周囲の人と話してみて欲しいと思います。もし、話しにくいと感じるのであれば、それは当事者が感じている居心地悪さの一端を知ったということです。そして、例え自分の身近にはLGBTだとはっきり知っている人がいなくても、普段の言動で性別に関する決めつけをしていないか、注意してみて欲しいと思います。「男なら当然だ」「女らしい格好をして」と無意識に、むしろ善意から言ってしまうこともあります。こうした物言いは、LGBTでなくとも、不快に感じる人が結構います。ハッと気づくことがあれば「今の言い方は良くなかったね」「すべての人がそうではないよね」と素直に受け止め、次からどう言うのがより適切か考えてみてください。

■カミングアウトを受けたら

アライとして行動するあなたの背中をみて「この人なら打ち明けられるかも」とカミングアウトする人も出てくるかもしれません。その時は、当人の話をよく聞いて、そのまま受け止めるようにしてください。今までと変わらない家族や同僚でいることも、大事な支援です。「何か困ったことがあれば相談してね」と伝えておくのも良いでしょう。注意して欲しいのは、カミングアウトの範囲です。無断で他の人に伝えてしまわないよう、気をつけてください。

LGBTのことを考えると、性別をはじめとした世間の「常識」や「当たり前」を問い直すことができます。少数者の目線を持つことが、よりみんなが生きやすい社会づくりに繋がればと願っています。

■平和を願い黙とうを

昭和20年8月6日午前8時15分、広島に原子爆弾が投下され、同9日午前11時2分、長崎に原子爆弾が投下されました。終戦から今年で76年。多くの犠牲者のご冥福と世界恒久平和を祈念するため、次の日時に1分間の黙とうをお願いします。

▽**広島被爆の時**　8月6日(金)午前8時15分

▽**長崎被爆の時**　8月9日(月・振休)午前11時2分

▽**終戦の日**　8月15日(日)正午

問人権啓発課(☎981-3127)

新型コロナ感染症生活困窮者自立支援金の申請は8月末まで

緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯(借入額が限度額に達している世帯や、再貸付について不承認とされた世帯)に一定の要件を満たす場合に支援金を給付します。

対象者　次の要件を満たす人(生活保護世帯は除く)

①市民税均等割非課税額の12分の1と住宅扶助基準の合計額を超えないこと

②世帯の預貯金額が①の6倍以下(100万円を超えないこと)

③ハローワークでの求職活動等を行うこと

支給額(月額)　単身世帯:6万円、2人世帯:8万円、3人以上世帯:10万円(住居確保給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金、低所得子育て世帯生活支援特別給付金との併給可)

支給期間　7月以降の申請月から3カ月

※申請方法など詳しくは、お問い合わせください。

問生活支援課(☎983-1138)

八幡おうえん飲食券の取扱店を募集します

住民生活および飲食店等の経済活動を支援するため、令和3年8月20日現在、本市に住所を有する人に、1人2千円分の飲食券を配布します(飲食券は10月ごろ世帯ごとに発送予定)。

現在、本飲食券が利用できる取扱店を募集しています。

▽**募集期間**　第1回締切:8月20日(金)午後5時まで(最終締切は11月30日〈火〉午後5時まで)

※第1回締切までに申請いただくと、飲食券とともに送付する取扱店一覧に掲載できます。

▽**対象店舗**　京都府の「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン推進宣言事業所」のステッカーが交付されており、次のいずれかに該当する店舗

※スーパーマーケット、コンビニ、暴力団員が関係する店舗は対象外。

●市内で飲食店営業許可または喫茶店営業許可を取得し、営業している店舗

●食品の製造業の営業許可を取得し、市内で小売販売を行っている店舗およびキッチンカー

※申請は商工会(☎981-0234)へ。

※応募方法やその他の詳細は、市ホームページの募集要項をご覧ください。

問商工観光課(☎983-2853)